

## ◎芍薬甘草湯エキス顆粒 (68) [ツムラ] [内]

## 【重要度】

【分類】漢方製剤

【単位】◎2.5g/包

【常用量】7.5g/日

【用法】分3 [食前又は食間]

【透析患者への投与方法】こむらがえりに有効で透析中の筋けいれんにも用いられる（腎と透析 39: 259-261,1995）筋痙攣の強さ、時間、頻度のいずれかが改善した有効率は81%であり、有効例中81%は筋痙攣時に頓服による服用が有効であり、筋痙攣の頻度が多い症例では1日3回の定期服用が有効（Ito Y, et al: J Jpn Soc Dial Ther 36: 33-39, 2003）従って多くの患者では常用する必要はなく、頓服で用いるだけで、速やかに効果が得られる（透析ケア 6: 75-79, 2000）

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【特徴】急迫性の筋肉の痙攣を目標に頓服として用いる方剤。芍薬と甘草の2味からなる。四肢の疼痛、腎石、胆石などの仙痛発作などに頓服として用い、鎮痛の効がある。芍薬に含まれるペオニフロリがCa イオンの筋細胞内流入を抑制し収縮を抑えたと考えられている。

【主な副作用・毒性】免疫抑制作用、うっ血性心不全、心室細動、心室頻脈、ミオパシー、間質性肺炎など。漢方薬中で甘草の量が最も多い（6g/日）ため、偽アルドステロン症になりやすいので、低K血症、高血圧、尿量減少に注意する。

【安全性に関する情報】60歳以上の高齢者が30日以上連用すると、低K血症と偽性アルドステロン症の発生率が上昇する（本間真人, 他: 薬学雑誌 126: 973-8, 2006）

【相互作用】漢方製剤の併用では含有生薬の重複（特に甘草）に注意

【更新日】20240716

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。